

学校教育目標(具体目標)

一、敬愛の心があつく心情豊かな生徒
一、よく考え主体的に行動できる生徒
一、体力・気力の充実した健康な生徒

あかね雲

令和4年度 陽西中学校だより

第3号

R4.6.7発行

発行者

校長 鈴木佳之



HP QRコード

成し遂げられなくても“やり遂げる”



春季地区大会の興奮も冷めやらぬまま、6月2日から県大会が行われハイレベルな戦いが繰り広げられました。

本校では、弓道女子団体が優勝、男子団体が準優勝し、男女とも8月の関東大会出場権を獲得しました。また、剣道男子団体が3位、弓道男子で渡辺さんが準優勝、女子で山中さんが6位、卓球女子個人で大柿さんが3位、陸上競技2年男子100mで渡辺さんが3位、共通男子3000mと1500mで清水ゆさんが各7位に

入賞するなど好成績を収めました。

野球、卓球男子団体、陸上競技個人、剣道男女個人は入賞には至らず敗退し、悔し涙を流しました。それぞれの勇姿をホームページをご覧ください。



この1年間は、東京2020オリンピック・パラリンピック、北京2022冬季オリンピック、大谷翔平などスポーツの話題に溢れていました。五輪というと、とにかくメダル獲得ばかりが話題になりがちですが、北京2022でスピードスケートの小平奈緒選手が残した言葉が注目を浴びました。



(フリー写真)

小平選手は、平昌2018での500mの金メダル覇者でしたが、北京直前の怪我で思うような走りができず、17位に終わりました。その時に、

「成し遂げることはできなかったかもしれないが、自分なりにやり遂げることはできた」と語りました。

優勝者以外はすべて敗者となる勝負の世界。それでも勝つことに挑む勇者がたくさんいて、数々のドラマが生まれます。運動部の3年生にとっては、最後の総合体育大会まであと1か月となりました。文化部も2か月余りです。残された時間に悔いを残さぬよう全力で頑張ってください。あとで振り返ったときに、小平さんのように胸を張って「やり遂げた」と言えるように。



夢と行動

本校生徒は560人います。560人いれば560人の夢があります。それは宇宙飛行士になる夢であったり、大谷のような大リーガーを目標にする人、ノーベル賞の真鍋博士のように研究の道に魅力を感じたりする人もいるかもしれません。もっと身近に、花屋、弁護士、IT系、学校の先生、動物の飼育員など、小さい頃からなりたい職業を決めていた人もいますでしょう。

今週までの3週間、5人の卒業生が教育実習をしており、教員への夢を実現させるために勉強しています。



人間は目標を定めたときに、知恵がわき、大きく成長することができます。夢をもつと、少しでも実現させようと、自分なりの行動目標を持つようになり、目標を達成するための方法や計画を考えるようになります。準備段階である今は、夢が次の夢へと成長することもあります。中学時代の努力は一人一人の夢の実現へとつながります。

夢なきものに目標なし
目標なきものに計画なし
計画なきものに行動なし
行動なきものに成果なし

このように夢や希望を持つことは大切なことですが、「行動を起こす」ことも大切です。よく「心が変われば行動も変わる」といいますが、この逆も真実で、「行動が変われば心も変わる」ものです。行動・挑戦することで、物事の道理に気づき、目指す自分像も明らかになってきます。ですから、目標がないからとか、やりたいことがないからと立ち止まっているのではなく、目の前にある課題をやってみることから始めてみてください。

体育祭 6/16(木) ぜひ見に来てください

コロナ禍の2年間は、生徒と教職員のみで実施してきましたが、現在の諸状況を総合的に判断し、今回は保護者（各家庭1名）に参観していただくことになりました。



感染対策の新たな方策として、これまでの校庭に加え、南校舎2・3階の教室を開放いたします。これにより、密を避けられるだけでなく、視界を遮るものもなく、競技や演技をつぶさに見ることができます。

25年続く食農体験 技術の進化は続く

平成12年度から、林様（同窓会長）のご指導のもと、田植え（稲作体験）を実施してきましたが、今回は都合により、講話を行いました。

稲作の歴史や我が国の食糧自給率の問題、海外の稲作や牛馬から稲作機械への進化など、様々な視点から稲作について考える時間となりました。ナビゲーションによる自動運転田植え機の導入は県内初で、とちテレ

や下野新聞でも扱われました。
「本当だ、運転手がない！」



生徒代表あいさつ

「……いつも食べているお米が、簡単に作られているものではないのだということを知りました。……でも、機械の自動化により米作りがもっと効率よく作られるようになったことを知り、ありがたいなと思いました。林先輩の話から熱量が伝わり、おいしくご飯を食べている何気ない日々の、感謝の気持ちが芽生えました。」

レベルアップ学習・土サポ 参加しませんか

毎週水曜日は部活動休養日で下校時刻は15時です。帰宅後の時間の使い方は人それぞれですが、計画通りにいかない人も多いのではないのでしょうか。



今年度は、学校に残って自主学習する「ステップアップ学習」を利用する生徒が増えています。まるで公立図書館の学習室のようですが、わからないときは先生のアドバイスをもらえるメリットがあります。中間テストも近づいていますので、この機会に参加してみませんか。

いじめゼロ強化月間(5月)

アンケート、教育相談（二者面談）、いじめゼロ集会、各学級スローガン作りと発表

一般的にいじめが多くなると言われている5月に、いじめゼロ強調月間を設け、全校集会（現在は校内放送）による呼びかけやビデオ視聴、学級ごとの話し合いによる「いじめゼロスローガン」づくり、各学年委員長によるスローガン発表、また、昼休みや放課後には担任との個別の教育相談などを行いました。

今年の生徒会スローガンは「～Let's challenge～仲間と高め合える学校へ!」。仲間とは何か……生徒会活動はもとより、学校生活の様々な場面で、考えていきたいですね。仲間は何よりの宝物です。

学校生活におけるマスク着用について

国や市教委からの通知で、マスク着用に関する考え方が緩和されました。本校においては以下のとおりとしますのでご理解をお願いいたします。

■基本的な考え方＝（健康管理を徹底した上で）学校生活は人との密接な場面が多いことから、これまでどおりマスク着用を原則とするが、安全性が高いとされる屋外や熱中症リスクが高い運動時は原則外すこととする。

	マスク不要	マスク着用
場所	屋外、体育館、武道場、プール （集会等の密接時を除く）	校舎内
場面	運動時（保体授業、運動部活動、体育祭） 屋外の教育活動、昼休み等の外遊び	教室での授業 休み時間（校舎内）